

やられたまままで黙ってはいないサウンドデモ→集会

8・5プレカリアート@アキバ

メーデー!メーデー!メーデー!メーデー!メーデー!4・30弾圧を許すな

デモ後の集会で、湯浅誠さんを迎えます。皆で喧々囂々プレカリティ(不安定さ)についてギローンしまくろう。

湯浅誠さん...NPO「自立生活サポートセンターもやい」事務局長。著書に「本当に困った人のための生活保護申請マニュアル」 <http://www.moyai.net/>

- ★集合: 8月5日(土) 14:30
- ★場所: 総評会館(千代田区神田駿河台3-2-11)
- ★交通: (地下鉄)千代田線・新御茶ノ水駅、丸ノ内線・淡路町駅、都営新宿線・小川町駅、いずれもB3出口(徒歩0分)
- (JR)御茶ノ水駅 聖橋口(徒歩5分)
- サウンドデモ: 16:00~18:00(予定)
- 集会: 総評会館 18:00~21:00(予定)



不安定さを強いる社会を転換させよう。生きることがこれほどにも大変なのは、言われるほど自分のせいではない。おかしいのは仕事も住居も、からだもこころも、日々の暮らしのすべてを不安定さに晒すこの社会だ。

なるほど目の前には「自由」が吊り下げられている。際限のない生き残り競争の果てに、互いの生を貶め合う「自由」だけが与えられている。しかし見るからにそれは自由ではない。偽物はいらない。

プレカリアート(不安定さを強いられた人々)が自らのものとした声は、人がつながりあう場へと街路を取り戻すサウンドデモとして表現された。これを封じ込めようとして、警察は恫喝と盾と不当逮捕を持ち出した。だが、すでに発せられた声をかき消すことなどできない。誰もやられたまままで黙ってなどいないからだ。

私たち自らが望むものをはっきりさせようと思う。それはただここに出会い、話し、驚かされ、喜び、生きることである。欲しいのは、考え、動き、表現することの中に、互いの生を交錯させる自由である。これらを奪うことを許さない。そのために力を尽くそう。

2006年7月
実行委一同

連絡先 メーデー救済会 mayday06q@yahoo.co.jp
フリーター全労働組合 paff@sanpal.co.jp
戦争抵抗者の会 war_resisters@yahoo.co.jp / 070-5587-3802

実行委運営上の確認
政治的立場の違いを暴力によって「解決」することを実践し、その行為と思想を正当化し続ける人びとの参加はおことわりします。

★「8・5サウンドデモ→集会」に賛同する個人・団体、そして何よりもこの取組みを成功させるために動いてくれる仲間を募集しています。ぜひ連絡を! ★以上の取り組みにご賛同いただける個人・団体の方は、下記振込先に賛同費をお寄せください(個人1000円、団体2000円)。また賛同者名とその公表の可否をE-mailかFAX(03-3352-6594)にてお寄せください。

【振込先】郵便局「ばるる」 10080-91518311
口座名...フリーター全労働組合
※郵便振替口座ではなく「ばるる」の口座です。

【賛同者】個人()
 └ 肩書き()
 └ 団体()
【公表】 可 不可 (チェックしてください)



8/5 Sat.
@SOHYOKAIKAN
<-->AKIHABARA

RETURN OF PRECARIART MAYDAY
5th AUGUST 2006, TOKYO
<http://sounddemo.nobody.jp/>